

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

現在特にインバウンドで、アドベンチャートラベルに積極的に取り組んでおり、日本政府観光局（JNTO）公式サイトでも弊社のインバウンドツアーを取り上げてもらっている。アドベンチャーツアーにはSDGsへの取り組みが必須であり、今後も全てのゲストに満足と自然への配慮を学んでいただくために、SDGsには積極的に取り組み、且つその活動の説明を加えることで積極的な理解に結びつけることを目標に掲げている。  
<https://www.japan.travel/en/sports/hiking/courses/yakushima/>  
 Leave No Trace(<https://lntj.jp>)を招致し、より対外的にもサステナビリティやSDGsに配慮したツアーを行っていることが可視化できるように目指したい。

<SDGs達成に向けての重点的な取組み及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ハイブリッド車、及び電気自動車を導入し、全ての車両において脱二酸化炭素社会に貢献している。	ハイブリッド車をやめ、電気自動車1台→2台、もしくは電気自動車1台+PHV車1台にする。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ゲスト用のお弁当に地場産の屋久杉を利用した割り箸を使うことで、使い捨ての利用を止める。また、山で使うコップやボトルも全て再利用可能なカップを使っており、一切の使い捨て製品を使っていない。	ゲストが多数の時にも対応できるように、箸を現在の9膳から12膳まで増やす。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	近自然工法を用いて屋久島の登山道周辺の環境を復元している。また、ツアー中にも積極的にゴミを拾い、参加者にもそのような意識を育ててもらう工夫をしている。年間で4日ほどの作業日数。	白谷雲水峡や淀川登山道を中心に活動しているが、他の主要登山道にも近自然工法を用いた整備・保全を広げて行く。作業日数は確保できる予算にもよりますが、5日以上作業日数を確保する。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGs に関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

<SDGs に関する重点的な取組み状況, 前期の指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			

・「登録状況」を記載してください。

・「取組みの状況」には, 前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は, その理由等も記載してください。